



かつなりくん

かりや市議会

だより

〈第155号〉



～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～

飲食店支援事業
KARIYA eats
ドライブスルー型テイクアウトにより、刈谷市に元気を!!

新型コロナウイルス感染症 対策予算を可決

5月25日(月)～31日(日) 刈谷市歴史博物館 北側駐車場で開催されました

主な記事 ページ
議決した議案 2～3
一般質問 4～5
新型コロナウイルス感染症関連 6～8

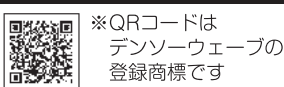
※【KARIYA eats】とは、新型コロナウイルスの影響で売上が減少した市内飲食店を支援することを目的に実施された事業です。

6月定例会のあらまし

この定例会は6月10日に招集され、会期17日間で6月26日に閉会しました。今回は議案など25件が提出されました。

主な議案は、令和2年度刈谷市一般会計補正予算などです。
◆6月10日・11日 本会議
(議案の大綱説明、一般質問)
市長から提出された議案の大綱についての説明を受けました。
次に、保育料の徴収等に係る処分に関する審査請求についての説明を受け、異議ない旨答申しました。
その後、10名の議員により15項目について一般質問が行われました。
◆11日 本会議
(議案説明・審議、委員会付託)
刈谷市土地開発公社経営状況についてなどの報告を受けたほか、農業委員会委員の選任について同意しました。
その後、刈谷市税条例等の一部改正など15議案の説明を受け、関係する委員会での審査することとしました。
次に、令和2年度補正予算関係2議案について説明を受けた後、予算審査特別委員会を設置して審査することとしました。
次に、議員提出議案が追加上程され、原案のとおり可決されました。
◆11日 予算審査特別委員会
予算議案は各分科会を設置して審査することとしました。
◆16日～19日・25日
委員会・分科会
議案や請願・陳情が審査され、委員会での採決が行われました。
◆25日 予算審査特別委員会
分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決が行われました。
◆26日 本会議(採決)
各委員長から、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありました。反対意見がなかったが、いずれも原案のとおり可決されました。
次に、令和2年度刈谷市一般会計補正予算が追加上程され、原案のとおり可決されました。
6月定例会での傍聴者は延べ62人です。

- *8月臨時会の開催予定***
8月5日(水) 本会議
- *9月定例会の開催予定***
8月20日(木) 議会運営委員会(運営を協議)
9月2日(水) 本会議(開会、一般質問など)
3日(木) 本会議(一般質問など)
4日(金) 本会議(一般質問、議案説明など)
決算審査特別委員会・予算審査特別委員会
8日(火) 企画総務委員会
9日(水) 福祉産業委員会
10日(木) 建設委員会
11日(金) 市民文教委員会
24日(木) 決算審査特別委員会・予算審査特別委員会
議会運営委員会(運営を協議)
25日(金) 本会議(委員長報告、採決など)
- 各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。
本会議：市役所10階、傍聴受付
委員会：市役所9階、議会事務局受付
○託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順)
臨時保育室「カンガルールーム」を御利用いただけます。
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。
○手話通訳・要約筆記を希望される方へ
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。
○一般質問KATCH放送(地上デジタル11チャンネル)
9月7日(月)、11日(金)、16日(水)でいずれも18時から。
詳しくはチャンネルガイドを御覧ください。



※QRコードは
デンソーウェブの
登録商標です

主な議案

6月定例会

(要約して掲載しています)

報告案件

■令和元年度刈谷市一般会計継続費の繰越しについて
 継続費とは、数年度にわたり予算を支出するもので、完了までに期間を要する事業に適用します。

経費の総額や年割額はあらかじめ決められていますが、事業の進行状況により、順次繰り越して支出します。

・市道01-41号線他道路新設改良事業
 ・住吉幼稚園移転新築事業

継続費の総額

17億6,352万3千円

令和2年度への繰越額

1億5,011万1千円

■令和元年度刈谷市一般会計繰越明許費の繰越しについて
 繰越明許費とは、天候不順、交渉の不調などにより事業の完了が遅れた場合、翌年度に限り予算を繰り越して支出できるものです。

・交通安全施設整備事業
 ・地域包括支援センター整備事業
 ・プレミアム付商品券事業
 ・企業立地推進事業
 ・排水機場改修事業
 ・亀城公園再整備事業
 ・岩ヶ池公園整備事業
 ・水防倉庫整備事業
 ・校舎等改修事業
 ・空調設備整備事業
 ・市民館施設改修事業

繰越総額

31億193万8千円

など33件

単行議案

■工事請負契約の締結について(清掃センター移転新築(建築)工事)
 清掃センターを移転新築する理由は何か。

【答】現在の清掃センターは老朽化が進み、継続利用と長寿命化を図るには、大規模改修が必要な状況となっている。また、県道刈谷大府線の開通により、清掃センターまでの経路が分かりにくいという声も市民から出ている。そのような状況を踏まえ、検討した結果、環境センター北側の敷地に移転することによって利便性の向上が図られ、環境センターとの効率的な管理運営を図ることもできると判断し、移転新築するものである。

【問】移転新築することで機能的なメリットはあるか。
 【答】LED照明を使用することで環境負荷の低減となることや、身体障害者用駐車場、玄関スロープ、多目的トイレを新たに設置するとともに、申請手続などを座って行えるよう、カウンターを低く設定し、身体の不自由な方にも配慮した点である。



環境センター北側に移転し効率的な管理運営を図る(清掃センター)

■工事請負契約の締結について(住吉小学校南舎建設(建築)工事)
 設備工事や電気工事も含んだ一括発注なのか。

【答】今回の工事請負契約は建築工事で、電気工事、管工事はそれぞれ分離発注し、建築工事を先行して入札を実施している。

【問】入札時期が分かれている理由は何か。
 【答】建築工事、電気工事、管工事の3業種が連携して施工準備を進めるため、おおむね契約期間、契約時期を合わせることにしている。建築工事については、予定価格が1億5,000万円を超えるため、議会の議決を得る必要があるため、入札から本契約までの日数を要することから、電気工事、管工事に先行して入札を実施している。

【問】新型コロナウイルス感染症の教訓を踏まえた学校施設の環境整備をどう考えるか。
 【答】施設整備などのハード面について、柔軟な対応が求められると考えている。また、今後は、第2波、第3波に備えて、児童生徒に1人1台配備されるタブレット端末を活用したオンライン授業を見据えた環境整備など、学校における新しい生活様式に対応した環境整備に努める。



教室不足を補うため、南舎を建設(住吉小学校)

条例議案

■刈谷市税条例等の一部改正について
 今回の特例措置により、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったイベント等のチケットを持つている人のうち、チケット代金の払戻しを受けないことを選択した場合、寄附金税額控除を受けることができるということだが、対象となるイベント等及び周知方法はどのようなか。

【答】対象となるイベント等は、令和2年2月1日から令和3年1月31日までに開催予定であったもののうち、主催者からの申請に基づき、文化庁及びスポーツ庁が指定したイベント等である。また、イベント等を指定すると、順次、文化庁及びスポーツ庁のホームページに掲載され、それに併せて、市のホームページにも掲載する。

■刈谷市介護保険条例の一部改正について
 条例改正により保険料が軽減される対象者数と影響額は、第2波、第3波に備えて、児童生徒に1人1台配備されるタブレット端末を活用したオンライン授業を見据えた環境整備など、学校における新しい生活様式に対応した環境整備に努める。

【答】対象者数は、5月31日現在で、被保険者全体の3万585人のうち約2割が対象となり、6,159人である。また影響額は約3,100万円を見込んでいる。



令和2年度の保険料を減額し、対象者の負担を軽減

補正予算議案(第3号)

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉産業、建設及び市民文教の各分科会で審査されました。6月25日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について、各分科会委員長より報告を受け、26日の本会議においていずれも原案のとおり可決されました。

補正する額(一般会計)

1億8,768万2千円

補正後の予算(一般会計)

787億3,034万1千円

補正後の予算総額(全会計)

1,123億9,611万7千円

【主な事業】

私立高等学校等授業料補助事業

私立高等学校等に在席する生徒の保護者に対し補助している授業料の補助上限額を、年額18,000円から25,000円に引き上げます。

※最終日に上程された新型コロナウイルス感染症対策を含めた補正予算については、6ページ、7ページを御覧ください。

陳情の結果

今回市民の皆さん等から提出された陳情8件は、関係する委員会で審査された結果、いずれも不採択となりました。

- ▼地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
- ▼消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出を求める陳情
- ▼住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情
- ▼沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情
- ▼公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情
- ▼最低賃金の引上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情
- ▼正規労働者が当たり前、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる社会を求める意見書の提出を求める陳情
- ▼障害・介護福祉に従事する職員や保育士の人材定着・確保のため職員配置基準と報酬・公定価格を抜本的に改善し、離職しない障害・介護・保育職の実現を求める意見書の提出を求める陳情

農業委員会委員の選任について

令和2年7月29日で任期満了となるので、次の方を選任することに同意しました。(任期3年)

- | | |
|--------------|--------------|
| 永田 憲正氏(東境町) | 岡本 英文氏(泉田町) |
| 神谷 幹成氏(松坂町) | 近藤 庄次氏(西境町) |
| 塚本 信子氏(今川町) | 加藤 ふく子氏(高須町) |
| 山田 友樹氏(井ヶ谷町) | 磯部 勝蒼生氏(野田町) |
| 塚本 忠氏(今川町) | 加藤 明氏(半城土町) |
| 杉浦 俊広氏(稲場町) | 小林 正位氏(築地町) |
| 杉本 常男氏(高松町) | 山田 正子氏(小垣江町) |

議決結果一覧表 (※)：賛否が分かれたもの

Table with 2 columns: 議案名 (Proposal Name) and 議決結果 (Decision Result). Includes items like '令和2年度刈谷市一般会計補正予算' and '刈谷市国民健康保険税条例の一部改正'.

6月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対 -：欠席)

Large table showing voting results for various proposals across different council members and clubs. Columns include member names and voting status (賛成, 反対, 欠席).

※異義ない旨答申

委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことについて、質問などがありました。

企画総務委員会

災害時のトイレ対策

問 これまでマンホールトイレにかかった総事業費は幾らか。

答 避難所への整備で約2,300万円、公園への整備で約9,600万円である。

問 市民に対してマンホールトイレの周知をどのように実施してきたのか。

答 平成30年度防災リーダースキルアップ講座で概要説明するとともに令和元年度実施の元刈谷地区主導の5地区合同避難所開設訓練の際に展示している。

その他「新型コロナウイルス感染症対策の財源確保」「平和行政」「外国人生活相談体制」などがありました。

建設委員会

刈谷駅北地区整備事業の進捗状況

問 民間主導で開発されている刈谷駅北地区の整備について、新型コロナウイルス感染症による影響は。

答 新型コロナウイルス感染症対策として、工事を一時中断していたが、ゴールデンウィーク明けから再開している。今後の社会情勢により工程への影響が懸念されるが、今のところ、当初の予定どおり令和3年3月の建物完成を目指していると伺っている。

その他「刈谷市都市交通戦略の新しい生活様式を見据えた改定」がありました。

福祉産業委員会

マスクバンクへの寄附実績

問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、マスクが不足している福祉施設等にマスクを供給するために開設されたマスクバンクへの寄附実績は。

答 6月10日までに市内内外の企業、団体、市民から94件、4万424枚の寄附があった。また、医療機関等で活用してほしいとの意向で、市内企業から5万枚の寄附があった。寄附されたマスクは福祉サービス事業所や医療機関で活用していただいている。

その他「プレミアム商品券」「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」などがありました。

市民文教委員会

夏季における小中学校の新型コロナウイルス感染症対策

問 夏季における普通教室の換気はどのように行うのか。

答 冷房を利用し教室の温度管理に努める。また、換気は対角線上の窓を開け、4台の扇風機を活用し、空気の流れを作るなど、教室全体の換気ができるように取り組む。

問 冷房病対策の取組は。

答 健康観察を丁寧に行っていききたい。また、医師会と相談し冷房の適切な利用に取り組む。

その他「コロナ禍における美術館・博物館の在り方」「夏休み中の学校給食実施の在り方」などがありました。

一般質問 市政のついでを問う

この定例会では6月10日・11日の2日間で、10人が登壇し15項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

※新型コロナウイルス感染症への対策として、6月定例会では一般質問の人数を少なくする対応をしました。

質問項目（発言順）（※）：掲載した項目

- 谷口 睦生 議員
 - ※1 「新しい生活様式」に向けた取組について
- 星野 雅春 議員
 - ※1 コロナ禍における愛知教育大学との連携について
 - ※2 コロナ禍における刈谷市の雇用情勢について
- 新海 真規 議員
 - ※1 学校の再開について
 - ※2 コロナと一人親世帯について
 - ※3 市公共施設の閉館について
- 鈴木 絹男 議員
 - ※1 市長の市民に対してのコロナ対策の考えについて
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 コロナによる市民生活応援施策と諸課題について
 - ※2 コロナ禍と収束後の市財政と運用について
- 上田 昌哉 議員
 - ※1 コロナ対策について
- 深谷 英貴 議員
 - ※1 新型コロナウイルス感染症関連の対応施策について
- 牛田 清博 議員
 - ※1 コロナ禍後のジェンダー平等社会の実現について
 - ※2 新しい生活様式と少人数学級（30人以下）の実現について
- 城内 志津 議員
 - ※1 コロナ禍で市民の生命と暮らしを守る対策について
- 清水 俊安 議員
 - ※1 新型コロナウイルス感染症に関する市の対応について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



谷口 睦生 議員

「新しい生活様式」に向けた図書館の利用方法の検討を
—誰もが使いやすい図書館を目指した取組を進めていく—

問 図書館再開に向けた新型コロナウイルス感染症対策の内容は。

答 受付カウンターには飛沫を防ぐためのビニールシートを設置するとともに、利用者の距離を確保するため、2メートルごとに整理できるようフロアマーカーを設置した。また、館内の密集を防ぐため滞在時間を30分以内とし、受付カウンターのテابلルや図書検索用パソコンなど、高い頻度で触れられる箇所は、消毒を徹底している。

問 電子図書館の増設、蔵書情報のオンライン化、インターネット予約など、サービス向上に向けた取組や読書バリアフリー法に対する取組はどのようなものか。

答 蔵書情報のオンライン化、インターネット予約などは既に

星野 雅春 議員

コロナ禍にある大学生への支援を
—広く情報収集に努め、必要に応じて対策を講じていく—

問 愛知教育大学の方々には包括連携協定を通じて、様々な場面で協力してもらっている。コロナ禍において、大学生の置かれている状況をどのように把握し、どのように感じているか。

答 日頃から同学の地域連携室と情報交換を通じて状況を聞いている。大学が独自で困窮学生支援制度を設け、経済的に影響のある学生の支援を行っていることや、休学・退学希望者が例年とほとんど変わらない状況であることから、現在、市から特別な支援を必要とする状況ではないと認識している。

問 刈谷市は高校生までに対

（主な答弁者・・・教育部長）

実施しているが、電子図書館システムの導入は、電子化できるコンテンツが限られていることや、電子書籍の価格が一般の図書に比べて高額であるなどの課題がある。読書バリアフリー法に対する取組は、視覚障害のある方のために大きな文字で印刷した大活字本や点字本、朗読CDの購入を進めている。



大活字本や点字本、朗読CDを配架し読書バリアフリーを推進

（主な答弁者・・・企画財政部長）

刈谷市と包括連携協定を結び様々な分野で連携している愛知教育大学



刈谷市と包括連携協定を結び様々な分野で連携している愛知教育大学

答 非常に手厚い支援をしている。これからは、愛知教育大学を含む大学生に対しても支援していくべきと考えるが、市の見解は、大学が市内地域にあるこ

とで、行政における各種施策のアドバイスや日本語教室の支援など、様々な協力が受けられている。大学は、まちな切な財産であると認識しているため、

新海 真規 議員

新型コロナウィルスによる臨時休業後もきめ細やかな対応を
—今後も子供たち一人一人に寄り添い、心のケアに努めていく—

問 新型コロナウィルス感染症拡大による臨時休業中は、子供たちに不安やストレスがあったと思うが、休業中の心のケアについての対応は。

答 全小中学校、特別支援学校に相談窓口を開設した。また、150台の携帯電話を用意して学校側から家庭に連絡を取り、直接子供と話をすることで生活の様子や学習の進捗状況の把握をした。その他にも学級を4分の1や8分の1に分けたり、学習相談日を2回設定し、直接子供や保護者と顔を合わせ、学習についての相談や今後の生活に

問 現在の基金残高は。

鈴木 絹男 議員

コロナで苦しんでいる市民のために100億円の予算措置を
—長期戦を見据えながらバランスよく支出を考えたい—

答 令和2年3月31日現在の総額は、約269億円である。私が試算すると、現在の基金残高に加えて、約40億円の繰越金があると思う。これらを合わせた約309億円が市民のために使えるはずである。基金は市民の貯金である。全額とは言わないが、せめて100億円を経済対策として、新型コロナウィルスで苦しんでいる市民に還元してはどうか。

問 繰越金については、今年度はまだ金額が確定していないが、約269億円の目的基金については、それぞれ公共事業とつながるものがたくさんあり、

今後も連絡を小まめに取りながら必要に応じて支援を検討していきたい。また、大学生の状況も広く情報収集に努め、必要があれば対策を講じていきたい。

（主な答弁者・・・教育部長）

問 不登校の児童生徒の臨時休業明けの登校状況は。

答 不登校の子供たちにとって臨時休業期間は、精神的に少し楽に感じられていたためか、学習相談日に登校できた子供がいた。登校できたことをきっかけに、分散登校日や通常どおりに登校が再開した今も登校を続けている子供もいる。一方で、登校できていない子供については、家庭訪問や電話相談を行うなど、心のケアや学習支援に努め、一人でも多くの子供たちが登校できるように最善を尽くす。

（主な答弁者・・・市長）

市独自の取組のほか、国や県と共に新型コロナウイルス感染症対策支援を実施



市独自の取組のほか、国や県と共に新型コロナウイルス感染症対策支援を実施

それをストップすると公共事業で仕事をしている方の仕事が多くなるため、今後バランスよく支出していきたいと考えている。

問 市長は政治的判断を下す責務がある。風水害等の災害で

は市民を早く助けて、感染症では早く助けられないということではないはずである。困っている人を徹底的に助けるべきであるが、

山本 シズ子 議員

不要不急のお城建設はやめて、直ちに市民生活の応援予算を

社会経済活動への影響も踏まえ、適時適切に進めていきたい

「亀城公園のあちこちにビニールシートがかぶっていて放置されているのか」という市民からの厳しい声も届く。今、お城問題はどうかしているか。

答 実施設計に向けて、地震に対する安全性などに配慮した石垣や建造物の構造等の検討を進めるとともに、石垣と土塁の境界面をより詳細に把握するための発掘調査に取り組んでいる。

問 コロナ禍の影響で市民の暮らしが打撃を受ける中で、大事な税金をお城のために貯め込んでいていいのか。お城建設は不要不急の事業だと思うが、市の見解は。

答 石垣や隅櫓などの復元だけではなく、城池周辺の整備や老朽化した施設の更新などに取組みを進める上で必要な事業である。

上田 昌哉 議員
スピード感を持って、大胆なコロナ対策を

財政調整基金を取り崩し、積極的に対応をしている

問 財政が苦しくなった場合、刈谷城建設を含めて様々な事業の見直しが必要になってくるが、どのように考えているか。

答 不要不急の事業は、中止や延期等をする。また、事態の収束及び社会経済活動の回復期間中においては、市民生活に係るの大きい事業に影響のないよう、社会情勢や財政状況を見極めつつ、事業の優先順位の見直しや事業内容の精査等を行う。

問 コロナの影響で執行され

市の考えはどうか。

答 全体を経営していく上において、国、県の支援も得ながら的確に行政運営を行いたい。

(主な答弁者：都市政策部長)

と考えている。今後の進め方については社会経済活動の情勢なども踏まえ検討していきたい。

問 亀城公園等整備基金を廃止し、直ちに市民生活応援の予算をつくるべきだと考えているか。

答 市の予算だけでなく、事業に賛同いただいた方からの寄附金も含めて適切に管理しており、基金の廃止は考えていない。

また、寄附を受けたフェイスシールドを医師会に380枚、歯科医師会に300枚配付した。

問 市民病院的役割である感染症の受入れ治療に当たる刈谷豊田総合病院の役割は非常に大きいと思うが、現在どのような支援を実施しているのか。また、市に対してどのような要望があるのか。

答 第二種感染症指定医療機関に指定されている刈谷豊田総合病院に

再度、分散登校となった場合、子供や先生の負担が大きくなる。30人学級の実現を検討すべきと考えるが、その場合どのくらい教員が不足するのか。

答 担任だけでも97人の不足が見込まれる。

問 1人1台の学習用端末の配備に当たり、経済的な状況等に関わらず等しく情報化の恩恵を享受できるように対応策を。

答 通信環境を確保できない家庭にはモバイルWi-Fiルーター等の貸与を含め検討する。

よる財源にこだわらず、財政調整基金を活用することで対応していきたいと考えている。

(主な答弁者：福祉健康部長)

市民が安心して暮らせるように医療機関との連携強化と支援を

医療従事者が安心して医療提供できるように努める

問 市民の安心安全を確保するために、市内の医療機関へどのような支援をしているのか。

答 医療機関において使用するマスクの不足について、医師会等から配付の要請を受けたため、市民が安全に医療を受けることができるよう、市の備蓄マスクを医師会に3万枚、歯科医師会に4,000枚を配付した。

また、寄附を受けたフェイスシールドを医師会に380枚、歯科医師会に300枚配付した。

問 市民病院的役割である感染症の受入れ治療に当たる刈谷豊田総合病院の役割は非常に大きいと思うが、現在どのような支援を実施しているのか。また、市に対してどのような要望があるのか。

答 第二種感染症指定医療機関に指定されている刈谷豊田総合病院に

再度、分散登校となった場合、子供や先生の負担が大きくなる。30人学級の実現を検討すべきと考えるが、その場合どのくらい教員が不足するのか。

答 担任だけでも97人の不足が見込まれる。

問 1人1台の学習用端末の配備に当たり、経済的な状況等に関わらず等しく情報化の恩恵を享受できるように対応策を。

答 通信環境を確保できない家庭にはモバイルWi-Fiルーター等の貸与を含め検討する。

(主な答弁者：教育部長)

コロナ禍を契機に分散登校ではなく、30人学級の実現を

担任だけでも97人の不足が見込まれる

問 再度、分散登校となった場合、子供や先生の負担が大きくなる。30人学級の実現を検討すべきと考えるが、その場合どのくらい教員が不足するのか。

答 担任だけでも97人の不足が見込まれる。

問 1人1台の学習用端末の配備に当たり、経済的な状況等に関わらず等しく情報化の恩恵を享受できるように対応策を。

答 通信環境を確保できない家庭にはモバイルWi-Fiルーター等の貸与を含め検討する。

よる財源にこだわらず、財政調整基金を活用することで対応していきたいと考えている。

(主な答弁者：福祉健康部長)

市民が安心して暮らせるように医療機関との連携強化と支援を

医療従事者が安心して医療提供できるように努める



市民、医療従事者が共に安心できるように医療機関へ支援

はないか。

答 令和3年度に斎場棟の改修工事を計画しており、シャワー室の増設を予定している。

(主な答弁者：教育部長)

学校給食の物資搬入業者には発注額を前提とした補償を

国の補助を受けながら可能な品目は全て補償を行っていく

問 学校臨時休業対策費補助金の対象とした品目と業者数は。

答 品目は3月2日から春休みまでのご飯、パン、麺、牛乳の4品目で、業者数は2者である。

問 それ以外の品目を対象から外した理由は。

答 外したわけではない。賞味期限の近い食材は買い取り、学校再開後に使用できる食材は計画的に購入していく。

問 業者に市が支払うはずであったおおよその金額は。

答 3月分約4,910万円、4月分約5,490万円、5月分約5,490万円、5月分約5,490万円、5月分約5,490万円。

清水 俊安 議員
新型コロナウイルス感染症に関する市の対応及び支援策を

市民や事業者の声に耳を傾け、必要な施策を実施する

問 新型コロナウイルスの現状及び対応は。

答 感染拡大は一段落しているが、再度の感染拡大の可能性が常に隣り合わせの状態であるとも認識している。本市としても感染拡大の防止対策を徹底するとともに、市民の皆様が日常生活を守るために、水道料金・下水道使用料の一部免除や子育て支援金の上乗せ支給など様々な支援策を実施している。

問 コロナ時代の新しい生活を支援するためにも、有効な施策を実施していくことが重要だと考えるが、長期化が見込まれる新型コロナウイルス対策にどのように対応していくのか。

答 市民の皆様が御理解御協力により大きな集団感染にはな

ないか。

答 令和3年度に斎場棟の改修工事を計画しており、シャワー室の増設を予定している。

(主な答弁者：教育部長)

学校給食の物資搬入業者には発注額を前提とした補償を

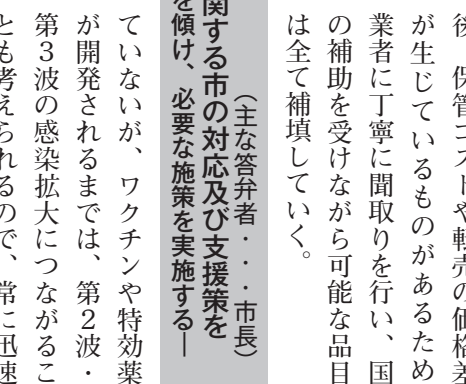
国の補助を受けながら可能な品目は全て補償を行っていく

問 学校臨時休業対策費補助金の対象とした品目と業者数は。

答 品目は3月2日から春休みまでのご飯、パン、麺、牛乳の4品目で、業者数は2者である。

問 それ以外の品目を対象から外した理由は。

答 外したわけではない。賞味期限の近い食材は買い取り、学校再開後に使用できる食材は計画的に購入していく。



市民の笑顔を守るため、様々な施策を実施

症に関連する対策支援 一般会計補正予算 (第4号))

補正予算議案 (第4号)

6月12日に国会で新型コロナウイルス感染症に関連する予算を含んだ令和2年度第2次補正予算が可決されました。それに伴い、令和2年度刈谷市一般会計補正予算(第4号)が本会議最終日の6月26日に緊急で追加上程され、多くの質疑が行われた後、原案のとおり可決されました。

補正する額(一般会計)
5億1,285万3千円

補正後の予算(一般会計)
792億4,319万4千円

補正後の予算総額(全会計)
1,129億897万円

主な質疑について要約し、掲載します。

新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算(第4号)(5億1,285万3千円)の内訳

- 1 新しい生活様式の定着を図ります。 **8,564万1千円**
保育園・幼稚園、子育て支援センター等への感染症拡大防止のための資材購入など
- 2 社会経済活動の回復を図ります **3億433万円**
売上が急減した市内事業者の事業継続を支援するための家賃補助など
- 3 ひとり親世帯を支援します **1億3,453万3千円**
低所得のひとり親世帯に対する臨時特別給付金の支給
- 4 政務活動費等を減額します **▲1,165万1千円**
政務活動費及び委員会視察費の全額などの減額

■災害対策管理事業

問 今回購入予定の簡易ベッド、段ボールベッド、間仕切り、各購入予定数、購入時期及び備蓄先は。

答 新型コロナウイルス感染症が発生している状況下における避難所開設に備え、簡易ベッド1,008台、段ボールベッド112台、間仕切り1,150セットを9月末までに購入する。備蓄先は、指定避難所のうち各小中学校と台風接近に伴い自主避難者に対応するため速やかに開設する富士松、小垣江、北部の3市民センター及び子ども相談センターに配備する予定である。

■一般事務費事業(学習指導員、スクール・サポート・スタッフ)

問 学習指導員及びスクール・サポート・スタッフの配置予定、業務内容及び募集時期は。

答 学習指導員は会計年度任用職員として任用し、各小中学校及び特別支援学校に2人ずつ計44人を配置し、業務内容は学習プリントの印刷や授業準備の補助等、教室内の机や椅子などの消毒も含め、学級担任のサポートを行うことを考えている。また、スクール・サポート・スタッフも会計年度任用職員として任用し、各小中学校に1人ずつ計21人を配置し、業務内容はトイレ清掃と校内の消毒等を行うことを考えている。募集については、今回議決されたら直ちに行いたいと考えている。

■プレミアム商品券補助事業

問 具体的なスケジュールは。

答 現在、参加店舗の募集を行っているっており、購入方法や取扱店舗等を掲載したパンフレットの作成に向けて準備を進めている。

■中小企業家賃支援事業

問 市独自という部分だけでも国に先んじて支給するような対応はできないのか。

答 中小企業家賃支援事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上げが急激に減少した市内事業者の事業継続を支援するため、国の家賃支援給付金の給付決定を受けた事業者に対して、市の上乗せ分として家賃の一部を補助するものである。国の給付決定を受けた者を対象とすることは、国での審査を受けた適正な者に対して補助することに、市への申請手続を簡素化することができるので、御理解いただきたい。なお、本市の給付については、最短期間で約2週間で申請口座に振込予定である。

■ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業

問 児童扶養手当の受給者だけを対象にするとあるが、所得制限を設けずに行うべきでは。

答 今後、さらに追加あるいは上乗せしていくような考えは、他市の同様の制度等を考慮して2か月分の支給ということにさせていたというところから上乗せすることは現在のところ考えていない。今後も新型コロナウイルス感染症による事業者への影響の把握に努め、必要な支援策を検討する。

■財政調整基金の状況

問 今回の追加分も含めたこれまでの新型コロナウイルス感染症対策関連予算の総額は。

答 専決処分による特別定額給付金に関するものから、5月臨時会で議決された関連予算、先ほど議決された一般会計補正予算(第3号)のうち、新生児おむつ臨時助成事業などの3事業、そして、今回追加で上程している対策関連予算までの4回の補正予算で、総額約182億9,900万円である。

■国の新事業として実施するひとり親世帯臨時特別給付金の支給対象者は、大きく分けて2つになる。一つは児童扶養手当の受給者で、所得制限を伴う。もう一つは児童扶養手当の受給者以外で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて令和2年2月以降、収入が大きく減少したひとり親世帯である。したがって、児童扶養手当の所得制限以上の収入があった方でも、現状の収入が大きく減少していれば支給対象となる。

問 4回の補正予算における新型コロナウイルス感染症対策関連の取組に必要な財政調整基金からの繰入予定額と財政調整基金の残高見込みは。

答 財政調整基金からの繰入予定額は、約19億6,100万円である。また、財政調整基金については、令和元年度末現在高が約96億9,500万円であったのに対して、当初予算での繰入予定額である10億円、6月補正予算(第3号)での市税等還付事業のために必要な取崩しなど、予算計上している繰入額等を全て反映した残高見込みは、約62億8,400万円である。

新型コロナウイルス感染

(6月定例会に緊急的に追加された)

市議会の提言により実現した支援策 (提言の詳細は8ページを御覧ください)

経済活動に対する主な支援

■プレミアム商品券補助事業【提言1への対応】



新型コロナウイルス感染症収束後の消費の喚起を加速させて地元の商店等を応援するため、刈谷商工会議所が販売するプレミアム商品券のプレミアム額と、発行に要する経費を補助します。1冊13,000円分(1,000円券13枚綴り)の商品券を10,000円で販売(1人5冊まで)します。

■中小企業持続化支援事業【提言1への対応】

新型コロナウイルス感染症の影響により、特に大きな影響を受けた市内事業者の事業継続を支援するため、現に事業活動を行っており、令和3年3月31日までに国の持続化給付金の給付決定を受け、愛知県・刈谷市新型コロナウイルス感染症対策協力金及び理容業・美容業休業協力金の交付を受けていない事業者に対し1事業者当たり250,000円を交付します。

■中小企業家賃支援事業【提言1への対応】

新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が急減した市内事業者の事業継続を支援するため、令和3年3月31日までに国の家賃支援給付金の給付決定を受けた市内事業者が、市内において事業用に賃借する事務所等の2か月分の家賃を、中小企業には賃料の6分の1(上限250,000円)、個人事業者には賃料の6分の1(上限125,000円)を交付します。

生活に対する主な支援

■自治会活動支援事業【提言1、2への対応】



新型コロナウイルス感染症の影響により停止していた地域の自治会活動等を再開するに当たり、必要となる感染症対策や新しい生活様式に対応するための経費等、地域の負担を軽減するため、1自治会当たり120,000円と自治会等加入世帯数に応じた支援金を支給します。

■災害対策管理事業【提言2への対応】



新型コロナウイルス感染症などが発生している状況下における避難所の開設に備え、簡易ベッド、段ボールベッド、間仕切りを購入し、備蓄品の拡充を図ります。

■子育て支援センター等新型コロナウイルス感染症対策事業【提言2への対応】



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て支援センターなどに非接触型の体温計のほか、マスクや消毒用アルコールなどの衛生用品を購入し、配備します。

これまでの新型コロナウイルス感染症対策関連予算総額

総額約183億円

主な事業	財源内訳	
特別定額給付金支給事業 市民生活支援事業 新生児おむつ臨時助成事業 子育て支援臨時給付金支給事業 ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業 高機能換気設備等導入支援事業 新型コロナウイルス感染症対策協力金交付事業 プレミアム商品券補助事業 中小企業家賃支援事業 中小企業持続化支援事業 信用保証料補助事業 ICT教育事業 学校教育活動支援事業	国	約159億6千万円
	県	約3億8千万円
	市	約19億6千万円
	など	

市議会の取組

■政務活動費等の減額

新型コロナウイルス感染症対策支援費の財源に充てるため、政務活動費及び委員会視察費の全額と今年度中止となった会議等の旅費等を合わせて11,651,000円を減額することとしました。

(1)政務活動費の減額

▲6,300,000円

(2)委員会視察費の減額

▲4,640,000円

(3)中止となった議長会等の旅費及び負担金の減額

▲711,000円

【合計】 ▲11,651,000円

刈谷市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部 市に2回目の提言書を提出

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言書 (2回目) (市長宛て)

1 国の緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルスとの長期戦が避けられない状況の中、一日でも早く、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻すため、市民生活や事業者の実態把握に努め、不急事業の見直し等により捻出した財源を基に、地域の実情に応じた効果的な支援策の実施・拡充を図ること。

2 有効な治療法やワクチンの開発がいまだ実現していない中、感染拡大の第2波、第3波の可能性に備え、公共サービスに支障が生じないよう対策を早急に講ずるとともに、「新しい生活様式」の確立に向けた取組を進めること。併せて、医療・介護・障害者施設等の環境整備に対する支援の充実に努めること。

※提言により実現した支援策は7ページを御覧ください。



稲垣市長に提言書を手渡す山崎対策支援本部長と加藤対策支援副本部長

6月定例会における新型コロナウイルス感染症への主な対策

- 傍聴者の間隔を空ける
- 議員、理事者はマスクを着用
- 換気を小まめに実施
- 一般質問の人数を少なくして対応
- 密接を避けるため、議場に入る議員の数を減らし、別室で本会議の様子が見られるようモニター視聴を実施



※別室2か所でモニターにて視聴しました

※質問者登壇前

刈谷市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部

4月10日に愛知県知事から、緊急事態宣言が発出されたことに鑑み、刈谷市議会災害対応マニュアル(平成29年6月策定)に基づき、4月14日午前9時をもって刈谷市議会としての対策支援本部を設置しました。

◎活動内容
・市対策本部との連携・情報共有
・市対策本部への要望・提言

◆第4回役員会議(6月26日)
第3回の会議で取りまとめ提出した提言書について、市対策本部長である市長から対策支援本部長である議長宛てに回答があったため、議長から各役員へ報告がありました。また、今後における市への提言等の在り方について協議をしました。

◎目的
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市との情報共有を主体とする協力・連携体制を整えます。

◎構成員
本部長…議長
副本部長…副議長
本部役員…会派代表者
本部員…その他の議員

※第3回までの役員会議の内容については、市議会ホームページまたは6月15日発行の市議会だよりを御覧ください。

編集後記 かけはし

◆今年に入り新型コロナウイルスの感染拡大とその対応で市民の皆さんも健康と命を守ることを、商売の事業継続など本当に苦労をされていると思います。そのような状況の中、令和2年7月豪雨が発生しました。被災された方々に、深くお見舞い申し上げます。

◆市議会でも対策支援本部を立ち上げ、皆さんからの声を基に市の対策への追加要望などを出してまいりました。そのあらまは「議会だより新型コロナウイルス感染症対策特別号」で御紹介いたしました。

また、本紙の表紙写真で紹介されている「KARIYA eats」と同様、市役所でも売上げが減少している飲食店を少しでも支えようと、市職員向けに弁当のデリバリーが行われて

います。市議会議員も本会議や委員会の際に注文しており、普段、店舗まで足を運ばないと味わうことができない専門店の味を、少しだけでも地元飲食店の売上げに貢献したいと思っています。

◆まだまだ新型コロナウイルスの終息の見通しはつきませんが、引き続き市民の暮らしを第一にした施策ができるよう市議会議員一同奮闘いたします。

◆現メンバーで市議会だよりの作成をするようになって1年が経ち、今号が最後となりました。毎回、かんかんががくがくの議論をし、作成してきましたが、至らないところもあったと思えます。1年間お読みいただきありがとうございました。

次回以降の市議会だよりもより一層市民目線で頑張りますので、ぜひ楽しみにしてください。

(議会広報委員会)

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いなどを出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。



本人が出席しない場合の結婚祝

本人が出席しない場合の葬式の香典

葬式等の花輪、供花

病氣見舞

入学祝卒業祝

お中元お歳暮

お祭りへの寄附や差入

町内会の集会や旅行などへの寄附や差入